# 紀北農芸高等学校 実施日時 今和元年12月12日(木) 参加者 生徒100名、教職員10名、中飯降地区自治会2名 計112名 実施内容 AED講習、応急処置講習、炊き出し実習、防災講演会

# ねらい

- 1、有事の際、慌てず個々が適切な行動が取れるようにする。
- 2、地域住人との連携により、困難な状況を打開出来るための経験値を積む。

# 主なプログラム

- 1、防災LHR
- 2、班別訓練 (AED講習・応急処置講習・炊き出し実習)
- 3、防災講演会

# 概要

1、防災LHR

LHRで「生徒の行動マニュアル」の学習

- 2、班別訓練
  - (1) AED講習

伊都消防組合消防本部による講習 (心肺蘇生法)

(2) 応急処置講習

日本赤十字社和歌山県支部による講習 (止血と搬送)

(3) 炊き出し実習

アルファ米の炊飯と配膳(200食)

3、防災講演会

伊都消防組合消防本部消防所長

講師:渡辺 俊守氏

### 参加者感想文

• (1年 男子)

私はAEDの講習を受けました。最初は説明を受けて、倒れている人を見つけたらまずは勇気を持って近づいて、反応の確認などを積極的に行動するのが大事だと思いました。

一人では出来ないと思えば、助けを大声で求め、119番への通報やAEDの依頼などを出来るだけ助けを求めるのことが必要なことを学ぶことが出来ました。

通報や依頼をした後、胸骨圧迫を30回単三電池の長さくらいで押すことが重要で、強く、速く、絶え間なくすることが必要で、AEDがくるとすぐに取り付けないといけないので、凄く大変だと思いました。

この様に、いろいろなことを学び、学習し、 いざ人が倒れていたら、すぐに駆けつけられる 様な人になって、1人でも助けれる人になりた いと私はとても思いました。

#### ·(1年 女子)

私は、応急処置の講習を受けました。他には AEDや炊き出しの講習もありました。応急処 置は、三角巾のたたみ方、止血の方法、日本赤 十字社は何をしているかなどの講習を受けまし た。

はじめに、日本赤十字社は「苦しんでいる人を救いたい」という思いがあり、国内災害救護や赤十字病院、ボランティアなどを行っている団体だと説明をしていました。

2つ目は三角巾のたたみ方で、横と横を揃え たり、ひっくり返したりすることにしました。 それは慣れるまでは凄く難しいのですが、友達 や講習の先生方に教わって出来るようになりま した。

3つ目は止血の方法です。人の血は何かに感染したらいけないので、その場にあったら、ビニール手袋や、その場になければ普通の袋で感染を予防しなければならないと説明してくれました。

手の肘から上が「上腕」、肘から下が「前腕」と教えられ、講習の先生が「左の上腕」と言えば、バディの子に三角巾を当て、「上腕の左の手」を押さえられました。また、交代して、バディの子もやりました。手とか身体には止血するツボのようなものがあり、それを押す訓練をしたりしました。手の場合、脇の下を指圧し、血管を止めて止血する方法があり、右の脈が動いてなかったら成功だといっていました。足を怪我した場合、手の場所と違いバディの子を横にします。その場に「包帯」や「三角巾」が無い場合、清潔なタオルなどでも代用が出来るといっていました。

次に頭を怪我した場合、1人の生徒が代表で選ばれ、「椅子に座って欲しい。」講習の先生は言いました。頭を止血する場合清潔なガーゼを傷の所に被せ、そのバディの子に持ってもらい、三角巾を巻くということをしました。少し難しくて戸惑いましたが、出来るようになりました。

緊急用の担架をつくりました。長い棒を用意 してジャンパーなどの服を重ねていき、それを 続けると担架が出来上がりました。1人の子が 乗るときちんと動けていて、凄いなと思いまし た。

この講習は「南海トラフ」が30年以内にくるといわれている震災を生き抜くこと、人を救うことが出来る方法だと思います。 α米も美味しくて、備蓄しておけば生きていく上で少しは

楽になると思うので、常日頃から準備や、いつ 来るか分からない震災などを心得ていかなけれ ばならないと実感した講習でした。

## 成果と課題

#### 【成果】

住人の方は、炊き出し実習に参加し生徒とのコミュニケーションも積極的に取って頂けた。

また、本校生徒も各講習会・実習に積極的に 参加していたようであり、講師先生に質問した りしていた。少しであるが、生徒の中に防災に 対する意識が芽生え始めているのを実感出来た。

#### 【課題】

事前に、地区長に開催案内を説明したものの、 地域からの参加者が2名だった理由として、内 容が昨年と同じ(3ワーク中2ワーク)であっ たためであると考えられる。今後、実施内容の 検討が必要不可欠である。

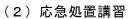
隣接する県農林大学校との日程調整が折り合わず、今年度も合同開催は実現出来なかった。

## 高校生防災スクールの様子

# (1) A E D 講習











(3)炊き出し実習



